

2022年5月期 決算短信 (REIT)

2022年7月19日

不動産投資信託証券発行者名 阪急阪神リート投資法人 上場取引所 東
 コード番号 8977 U R L <https://www.hankyuhanshinreit.co.jp/>
 代表者 (役職名) 執行役員 (氏名) 白木 義章

資産運用会社名 阪急阪神リート投信株式会社
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白木 義章
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 岡野 清隆
 TEL 06(6376)6823

有価証券報告書提出予定日 2022年8月25日 分配金支払開始予定日 2022年8月16日

決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期 (2021年12月1日～2022年5月31日) の運用、資産の状況

(1) 運用状況 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期	5,697	△0.2	2,398	3.6	2,090	3.3	2,088	3.3
2021年11月期	5,706	0.4	2,315	△4.3	2,024	△3.3	2,022	△3.3

	1口当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 経常利益率
	円	%	%	%
2022年5月期	3,004	2.4	1.2	36.7
2021年11月期	2,909	2.3	1.2	35.5

(2) 分配状況

	1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	分配金総額 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過分配金	利益超過 分配金総額	配当性向	純資産配当率
	円	百万円	円	百万円	%	%
2022年5月期	2,961	2,058	—	—	98.6	2.4
2021年11月期	2,909	2,022	—	—	100.0	2.3

(注) 2022年5月期の1口当たり分配金と1口当たり当期純利益の差異要因は、圧縮積立金の積立 (30百万円) によるものです。

(3) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1口当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2022年5月期	171,558	86,636	50.5	124,620
2021年11月期	171,781	86,570	50.4	124,525

(4) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年5月期	10,357	△9,283	△2,036	10,198
2021年11月期	4,275	△1,288	△2,104	11,160

2. 2022年11月期 (2022年6月1日～2022年11月30日) 及び2023年5月期 (2022年12月1日～2023年5月31日) の運用状況の予想

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円
2022年11月期	5,698	0.0	2,402	0.2	2,073	△0.8	2,071	△0.8	2,980	—
2023年5月期	5,650	△0.8	2,409	0.3	2,087	0.7	2,085	0.7	3,000	—

(参考) 1口当たり予想当期純利益 (2022年11月期) 2,980円、1口当たり予想当期純利益 (2023年5月期) 3,000円

※ その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済投資口の総口数

① 期末発行済投資口の総口数(自己投資口を含む)	2022年 5月期	695,200口	2021年11月期	695,200口
② 期末自己投資口数	2022年 5月期	0口	2021年11月期	0口

(注) 1口当たり当期純利益の算定の基礎となる投資口数については、19ページ「1口当たり情報に関する注記」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 特記事項

本書に記載されている運用状況の見通し等の将来性に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の運用状況等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、2022年11月期及び2023年5月期の運用状況の予想数値は5ページ「2022年11月期（第35期：2022年6月1日～2022年11月30日）及び2023年5月期（第36期：2022年12月1日～2023年5月31日）の運用状況の予想の前提条件」記載の前提条件の下に算出した現時点のものであり、状況の変化により実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）及び1口当たり利益超過分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。